

2 3 精神医療センター新館ボイラー設備改修工事

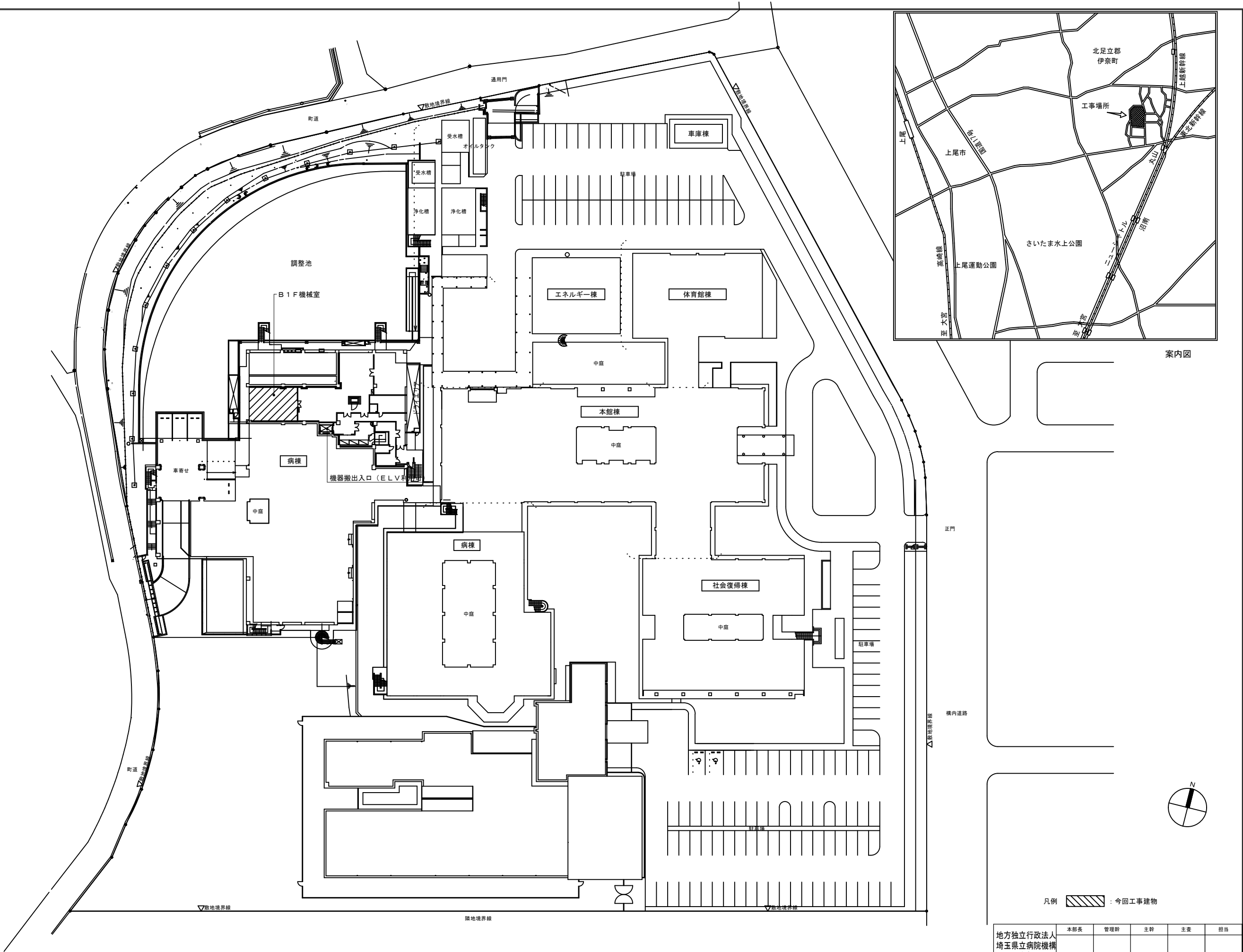
図面リスト

図面番号	図 面 名	縮 尺
M- 0 0	図面リスト	N. S
M- 0 1	機械設備工事特記仕様書（１）	N. S
M- 0 2	機械設備工事特記仕様書（２）	N. S
M- 0 3	配置図・案内図	１：８００
M- 0 4	B 1 階機械室平面詳細図	１：１００
M- 0 5	B 1 階機械室煙道平面図	１：２００

	設計年月日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主 幹	主 査	主 任	縮 尺	2 3 精神医療センター新館ボイラー設備改修工事	図 面 名 図 面 リ ス ト	図面番号 M- 0 0
								A1 : N/S			
								A3 : N/S			

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当

	(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。		18 空気熱源ヒートポンプ空調機	標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC (R410A、R32又はR407C) (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。		12 擬音装置	・女子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) ・男子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) ・多目的トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) 衛生設備器具の適用等の必要なことは別途衛生設備器具表による。		2 洗面器等の排水管 洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。 3 満水試験継手 3階以上わたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット 4 樹の適用 別紙樹表による。						
	(4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時的取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの(一財) 日本石油燃焼機器保守協会) が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時的取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。		1 長方形ダクト	※低圧ダクト(亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト(亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト(亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト(・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト(・A区分 ※B区分)		1 配管材料	配管材料は、※下記 ・図面指示(図面指示が不足する箇所は下記) による。 施工箇所 管種別 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) ※SUS ・SGP-PD ・ポリブテン管 ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管) ※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管 保温をしない屋外露出部 ※SUS ・SGP-PD 地中埋設部(水道直結部分) ・HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管(PE) 地中埋設部(一般部分) ※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管(PE) 県営住宅 住戸内 ※ポリブテン管(さや管ヘッダー工法) 便所天井内、P S内(注5) ※高密度ポリエチレン管(32A以上) 便所天井内 ※ポリブテン管(10mm保温付) 便所空腔壁内又は衛生器具等接続管 ※ポリブテン管 その他の部分 ※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) ※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管 湿潤シンダー内配管 ※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管 保温をしない屋外露出部 ※SUS ・SGP-PD 地中埋設部(一般部分) ※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管(PE) 便所天井内、P S内(注5) ※高密度ポリエチレン管(32A以上) 便所天井内 ※ポリブテン管(10mm保温付) 便所空腔壁内又は衛生器具等接続管 ※ポリブテン管 その他の部分 ※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管 (注) 1. SUSとは、JIS G 3448 またはJWW G 115に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部(・圧縮 ・タフ714 ※拡管) 便所・廊下流し露り露出配管(※拡管) とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1Iによる。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、胴接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用樹を設ける。 5. 口径25Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂(PE100)を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。		●給湯設備 2 絶縁フランジ 取付部は下記による。 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分 3 弁 類 (1) 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1Iによる。 4 ガス瞬間湯沸器 ※屋外設置の潜熱回収型 ・PS扉内設置の潜熱回収型 5 電気給湯器 飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。						
1 設計温湿度	外 気 一 般 系 統 屋 内 温度 (DB) 湿度 (RH) 温度 (DB) 湿度 (RH) 温度 (DB) 湿度 (RH) 温度 (DB) 湿度 (RH) 夏 期 36.9℃ 46.1% 28℃ %℃ %℃ %℃ % 冬 期 0.6℃ 50.7% 20℃ %℃ %℃ %℃ % ※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。		2 円形ダクト	※スパイラルダクト(※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管(VU) ・耐火二層換気管又は耐火VP ※フレキシブルダクト(・保温付 ・保温無) (注1) 使用区分は図示による。		●消火設備 1 配管材料 屋内消火栓用 一般配管※SGP(白) ・STPG370(白) Sch40 地中埋設※SGP-VS ・HIVP ・高密度ポリエチレン管(消火用) 消火用 一般配管※SGP(白) ・STPG370(白) Sch40 地中埋設※SGP-VS ・HIVP ・高密度ポリエチレン管(消火用) 不活性ガス消火用 ※STPG370(白) Sch40 ・STPG370(白) Sch80 2 建物導入部配管 図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4(・(a) ・(b) ・(c))		●ガス設備 1 配管材料 ・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ・SGP(白) 地中埋設 ※PE管 2 ガス漏れ警報遮断装置 漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。 3 液化石油ガスの供給権 ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。							
2 総合試運転調整	※本工事 ・別途 風量調整 ※する ※しない 水量調整 ・する ※しない 騒音の測定 ・する ※しない 室内外空気の温湿度の測定 ※する ※しない 室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ※しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ・する ※しない		3 風量測定口	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト		●厨房設備 1 厨房機器の固定 原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 2 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。		●給湯設備 1 配管材料 屋内消火栓用 一般配管※SGP(白) ・STPG370(白) Sch40 地中埋設※SGP-VS ・HIVP ・高密度ポリエチレン管(消火用) 消火用 一般配管※SGP(白) ・STPG370(白) Sch40 地中埋設※SGP-VS ・HIVP ・高密度ポリエチレン管(消火用) 不活性ガス消火用 ※STPG370(白) Sch40 ・STPG370(白) Sch80 2 建物導入部配管 図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4(・(a) ・(b) ・(c))							
3 煙 道	(1) 鉄板厚 (※3.2mm ・4.5mm) (2) ばい煙濃度計 ※設ける ・設けない (3) ばいじん量測定口 ※設ける(測定口は80φとする) ・設けない		4 チャンパー	(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留し(1)な防塵ダになる。 復帰方式(※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下		2 一体形タンク 一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。		●厨房設備 1 厨房機器の固定 原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 2 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。							
4 煙 突	※別途 ・本工事		5 ダンパー	(2) ピストンダンパー 復帰方式(※遠隔 ・)		3 水 栓 ※給湯用水栓を除き大きな呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。		●厨房設備 1 厨房機器の固定 原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 2 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。							
5 長方形ダクト	※低圧ダクト(亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト(亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト(亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト(・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト(・A区分 ※B区分)		6 多湿箇所の排気ダクト	(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管(VU)(防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火VP)を使用できる。 ※浴室(シャワー室、脱衣室を含む) ・ (2) 水抜き管は(※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・)の排気ダクトには設ける 下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN・(ロ)・XIとする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※(※厨房 ・湯沸室 ・)用の隠蔽ぺい部ダクト(仕様はh・(イ)・Ⅸとし範囲は図示による)		3 水 栓 ※給湯用水栓を除き大きな呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。		●厨房設備 1 厨房機器の固定 原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 2 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。							
9 吹出口及び吸込口ボックス	※亜鉛鉄板製 ・グラスウール製		7 保 温	下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN・(ロ)・XIとする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※(※厨房 ・湯沸室 ・)用の隠蔽ぺい部ダクト(仕様はh・(イ)・Ⅸとし範囲は図示による)		4 量 水 器 ※親メーター(※資与品 ・) ・子メーター(※買い取り ・)		●厨房設備 1 厨房機器の固定 原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 2 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。							
10 ダンパー	(1) 防煙ダンパー 復帰方式(※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式(※遠隔 ・)		8 試運転調整	風量調整 ※する ※しない 風量測定 ※する ※しない 騒音の測定 ・する ※しない		5 量水器樹 ※水道事業者指定品 ・標準図MC形		●厨房設備 1 厨房機器の固定 原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 2 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。							
11 配管材料	(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管(白) ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管(白) ・ (3) プライン管 ※配管用炭素鋼鋼管(黒) ・ (4) 冷煤管 ※断熱材被覆銅管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。 (5) ドレン管(屋外) ※配管用炭素鋼鋼管(白) ・硬質塩化ビニル管VP ドレン管(屋内) ※保温機能付空調用ドレン管(2XのACD'1in'φ'相当品) ・耐火二層管VP(FDPS-1) ・配管用炭素鋼鋼管(白) ・硬質塩化ビニル管VP (消防協議事項： ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼鋼管(黒) ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管(黒) ・ 還 管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管(黒) Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管(白) ・ 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。 また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。		1 ダ ク ト	※亜鉛鉄板 ・		6 井 類 規格はJIS又はJVとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。		●厨房設備 1 厨房機器の固定 原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 2 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。							
12 弁 類	※低圧ダクト(亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト(亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト(亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト(・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト(・A区分 ※B区分)		2 排煙口の形式	※天井取付(・スリット形 ※スイング形) ・壁取付(・スリット形 ・スイング形)		7 水 栓 柱 ・防寒コンクリート水栓柱(1200L) ※不凍給水栓		●厨房設備 1 厨房機器の固定 原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 2 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。							
13 温 度 計	取付部は下記による。 ※熱源機側の冷温水管(出入口共)、冷却水管(出入口共) ※空調機側の冷温水管(出入口共) ※ダクト接続形空調機側のサプライチャンパー、レタンドダクト、 外気取入ダクト及びレタランチャンパー ※冷温水ヘッダー(往)及び各選り管 ※熱交換器の温水管(出入口) ・		3 排煙口手動開放装置	開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ・電気式(遠隔操作 ・不要 ・要)		8 建物導入部配管 図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4(・(a) ・(b) ・(c))		●厨房設備 1 厨房機器の固定 原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 2 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。							
14 圧 力 計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管(出入口共)、冷却水管(出入口共) ※空調機側の冷温水管(出入口共) ※冷温水ヘッダー(往)及び各選り管 ※熱交換器の温水管(出入口) ・		4 排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書(一財)日本建築設備・昇降機センター)の排煙風量の検査方法に準ずる。		9 検針方法 水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。		●厨房設備 1 厨房機器の固定 原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 2 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。							
15 瞬間流量計	瞬間流量計はピトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は(※1個 ・個)付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに(※図定形 ・着脱形)を設ける。 ・空調機側の冷温水管の出入口どちらかに(※図定形 ・着脱形)を設ける。		1 中央監視制御装置	・有り ※無し		10 水道利用加入金 水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。		●厨房設備 1 厨房機器の固定 原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 2 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。							
16 油面制御装置	※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ(※図定形 ・着脱形)を設ける。 制御壁には(※給油ポンプ制御 ※減油油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・返油ポンプ制御)の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。		2 構成・機能	図示による		11 本管取出し 水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。		●厨房設備 1 厨房機器の固定 原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 2 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。							
17 冷却塔	※直交流式 ・向流型 ※レジオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。		3 電気計装用機材	使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。		1 配管材料	配管材料は、※下記 ・図面指示(図面指示が不足する箇所は下記) による。 施工箇所 管種別 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP 厨房等の温排水 ※SGP(白) ・ 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VVP(FDPS-1)又は耐火VVP ・SGP(白) その他の部分 ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管VVP(FDPS-1)又は耐火VVP ・排水用/1/2in'φ'抄塗装鋼管 その他の部分 ※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP 地中埋設部 ※RS-VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管(ゴム輪接合) ※REP-VU(軽荷重の場合) ・RF-VVP又はリサイクルVVP ・VVP 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VVP(FDPS-1)又は耐火VVP ・SGP(白) その他の部分 ※リサイクルVVP又はRF-VVP ・VVP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (注) 1. リサイクルVVP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-VVP、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2.1.2.6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY45度で行う。		●厨房設備 1 厨房機器の固定 原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 2 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。						
		設計年月日			地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	工 事 名 称	図 面 名	図面番号	2023.4
												23精神医療センター新館ボイラー設備改修工事	機械設備工事特記仕様書(2)	M-02	

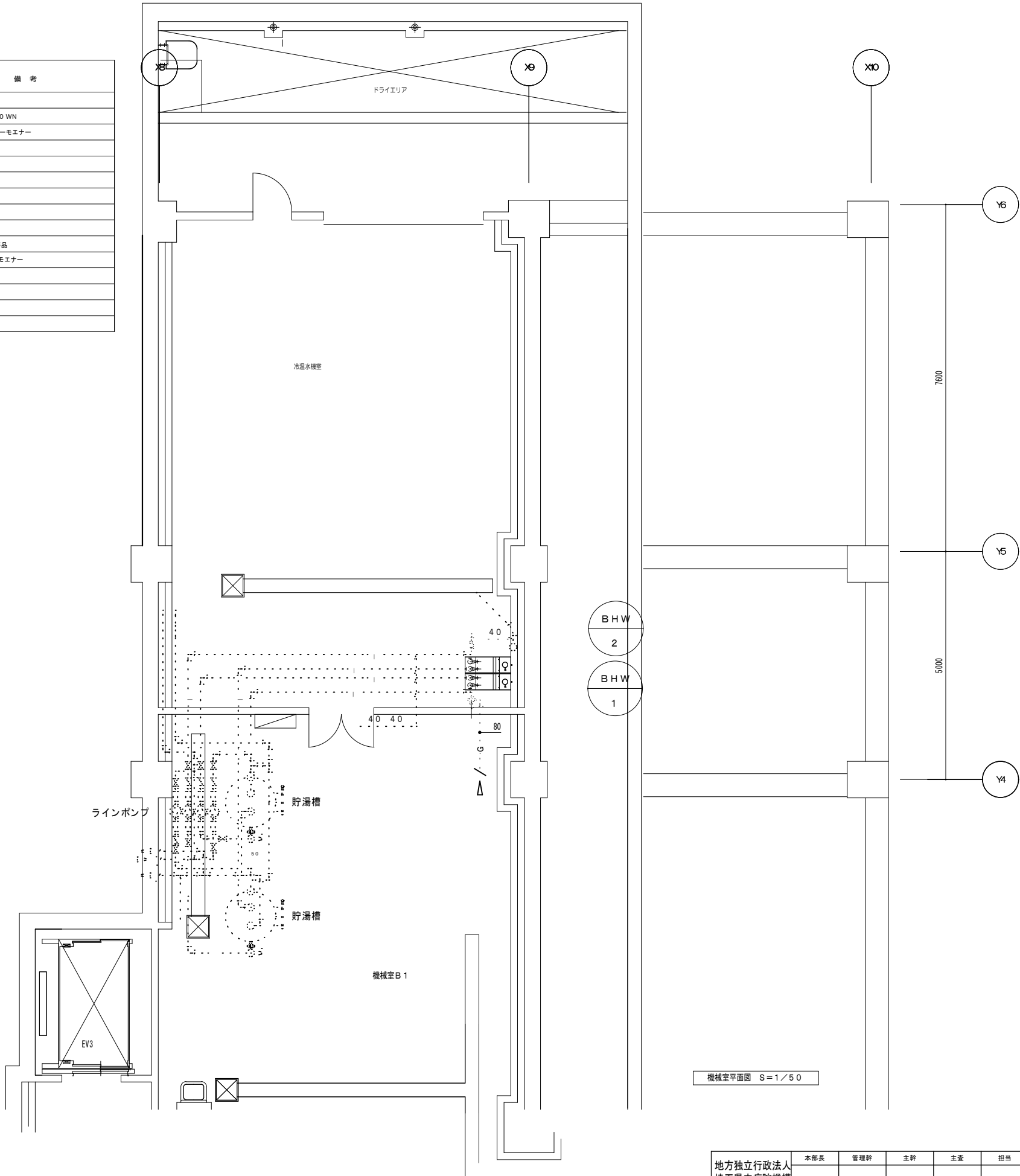
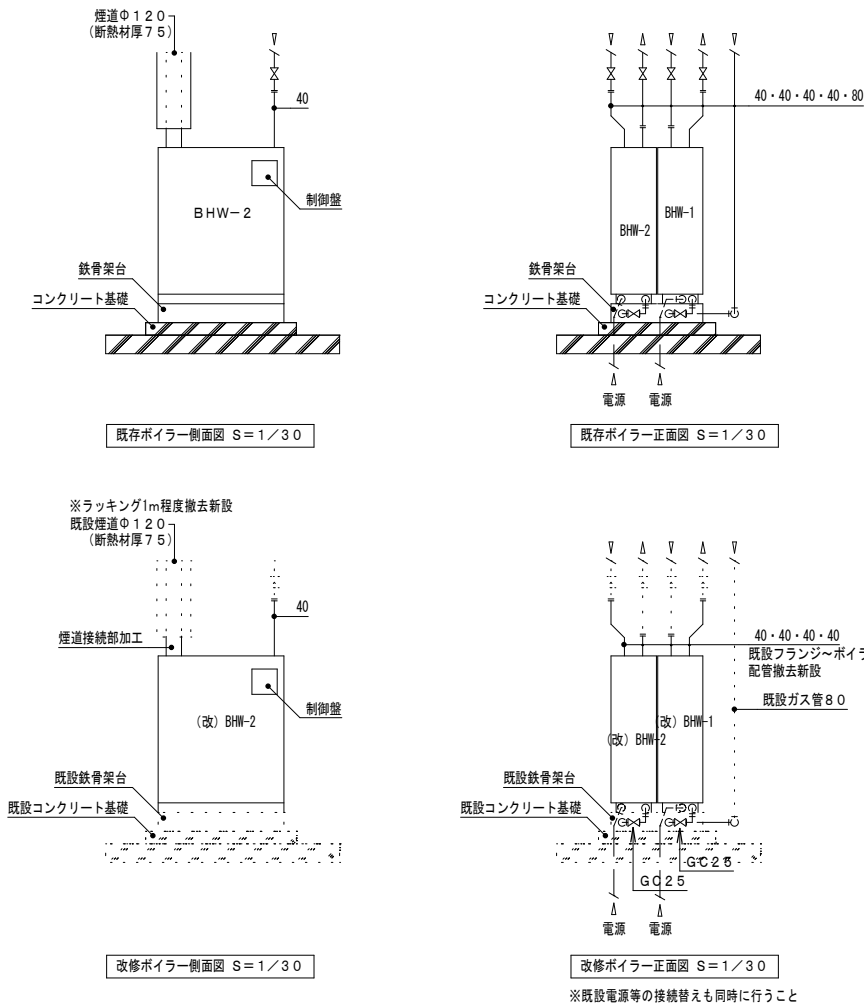


地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主査	担当

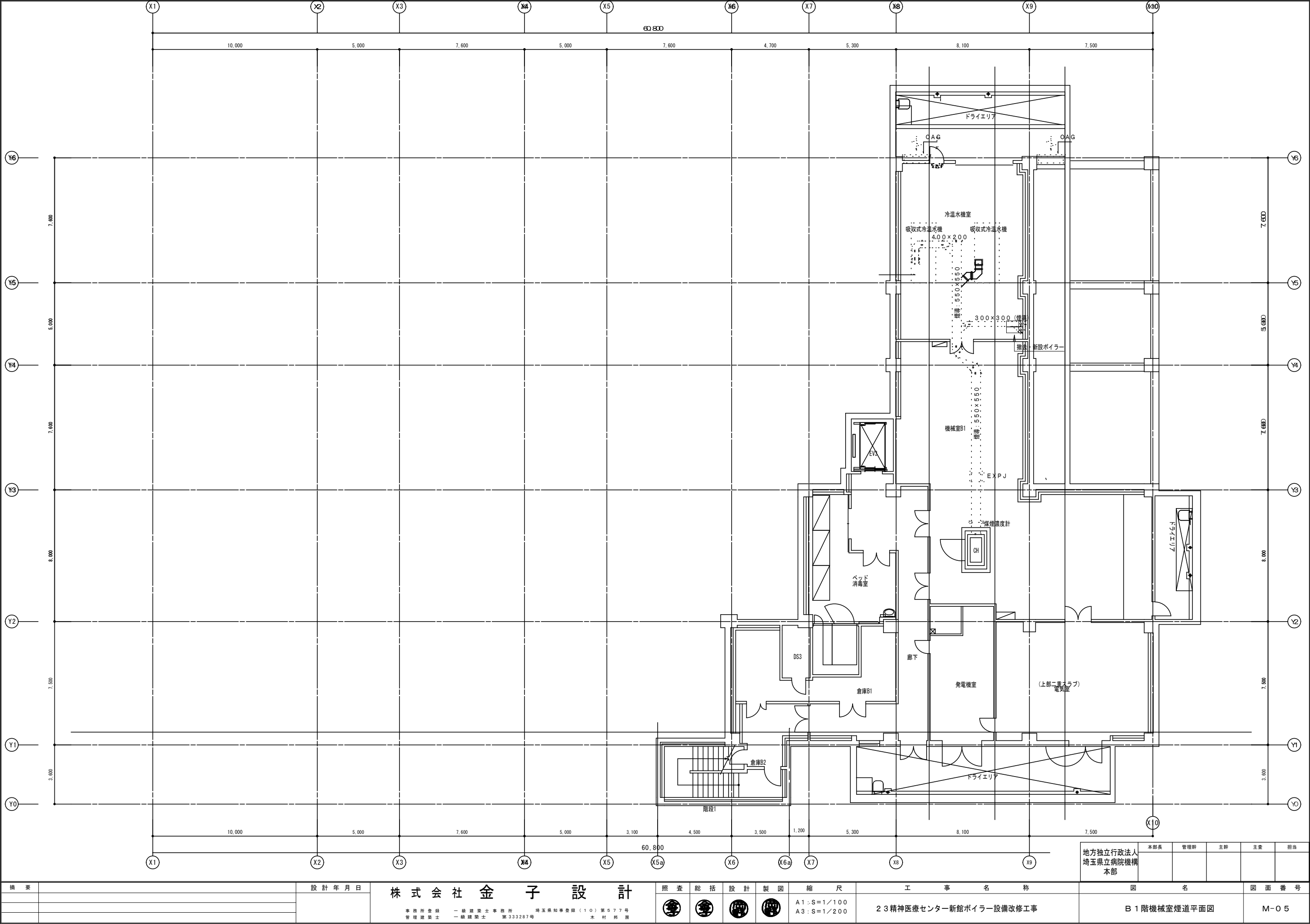
摘要	設計年月日	株式会社金子設計	照査	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 管理建築士	一級建築士事務所 一級建築士	埼玉県知事登録(10)第577号 第333287号	埼玉県知事登録(10)第577号 木村 邦 男		A1:S=1/400 A3:S=1/800	23精神医療センター新館ボイラー設備改修工事	配置図・案内図	M-03

記 号	名 称	台数	機 器 仕 様	電 気 容 量				設 置 場 所	非 常 電 源	備 考
				φ	V	(k w)	起動方式			
<既存撤去>										
BHW-1、2	給湯ボイラー	2	型式: ガス焚き真空式温水機(1回路) 低NOx仕様	3	100	0.92	L-S	B1F 冷水温水機室		GHL-100WN
			仕様: 定格出力 116.0kw ガス消費量(13A) 11.2Nm ³ /h							(株)日本サマーエナジー
			伝熱面積 2.2m ²							
			最高使用水頭圧力 980kPa							
			付属品: 制御盤							
<新設>										
(改)BHW-1、2	給湯ボイラー	2	型式: ガス焚き真空式温水機(1回路) 低NOx仕様	3	100	0.3	L-S	B1F 冷水温水機室		EOL-100GN同等品
			仕様: 定格出力 116.0kw ガス消費量(13A) 11.5Nm ³ /h							(株)日本サマーエナジー
			伝熱面積 2.2m ²							
			最高使用水頭圧力 980kPa							
			付属品 制御盤 抽気装置							
			感震装置 マルチリモコン							

※ 交換作業可能時間帯は原則17：00～翌8：30までとする。
作業手順については、施設影響に配慮し施設管理者と綿密な調整を行うこと



										地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部		本部長	管理幹	主幹	主査	担当				
摘 要		設 計 年 月 日		株 式 会 社 金 子 設 計				照 査	総 括	設 計	製 図	縮 尺	工 事 名 称			図 名		図 面 番 号		
				事務所登録 管理建築士				一級建築士事務所 一級建築士	埼玉県知事登録(10)第577号 第333287号					A1:S=1/50 A3:S=1/100	23精神医療センター新館ボイラー設備改修工事			B 1 階機械室平面詳細図		M-O 4



地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部		本部長	管理幹	主幹	主査	担当
図名		B 1 階機械室煙道平面図				図面番号
M-05						

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	照査	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 管理建築士	一級建築士事務所 一級建築士	埼玉県知事登録(10)第577号 第333287号	木村 邦 男		A1:S=1/100 A3:S=1/200	23精神医療センター新館ボイラー設備改修工事	B 1 階機械室煙道平面図	M-05